

伐採する者と伐採後の造林をする者が同じ場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採の始期の30～90日前
に届出

令和4年4月1日

宇部市長 様

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 森林 太郎

〔法人にあつては、
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者である 森林太郎 が所有する立木を伐採するものです。

1 森林の所在場所

宇部市 大字○○ 字△△ 地番 ○○-1番地, ○○-2番地

2 伐採及び伐採後の造林の計画
別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

- ① 伐採箇所ごとに届出書を作成する。
- ② 複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載する。
- ③ 必要に応じて届出に係る区域を示す図面を添付する。

3 備考

森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別等を記載する。

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合には、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 3 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採の始期の30～90日前
に届出

令和4年4月1日

宇部市長 様

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合は、連名で届け出る。

住所 ○○市△△町字□□123

届出人 氏名 ○○林業
代表取締役 林野 次郎

〔伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）〕

住所 ○○市○○町1-2-3

届出人 氏名 森林 太郎

〔伐採後の造林をする者（森林所有者）〕

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者のうち ○○林業 が所有する立木（又は長期受委託契約に基づき△△が所有する立木）を伐採するものです。

1 森林の所在場所

宇部市 大字○○ 字△△ 地番 ○○-1番地, ○○-2番地

2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

- ① 伐採箇所ごとに届出書を作成する。
- ② 複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載する。
- ③ 必要に応じて届出に係る区域を示す図面を添付する。

3 備考

森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別等を記載する。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が人工造林の場合

伐採計画書

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 森林 太郎

1 伐採の計画

全ての地番の合計面積を記載
小数第2位まで記載（第3位四捨五入）

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|-----|------|
| 伐採面積 | 1.00 ha(うち人工林 1.00 ha、天然林 ha) | | |
| 伐採方法 | (主伐)(皆伐)・択伐 | 伐採率 | 100% |
| 作業委託先 | △△森林組合 | | |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採年齢 | 50年 | | |
| 伐採の期間 | 令和4年5月15日 ~ 令和5年3月15日 | | |
| 集材方法 | 集材路・架線・その他() | | |
| 集材路の場合 予定幅員・延長 | 幅員 3.0 m ・ 延長 500 m | | |

2 備考

| |
|--|
| |
|--|

①始期は届出年月日以降30~90日
②伐採の期間が1年を超える場合は、年次別に伐採の計画が記載

注意事項

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

(別添)

造林計画書

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 森林 太郎

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

| | |
|----------------------|-----------------------------|
| 造林面積 (A + B + C + D) | 2.00ha |
| 人工造林による面積 (A + B) | 2.00ha |
| 植栽による面積 (A) | 2.00ha |
| 人工播種による面積 (B) | ha |
| 天然更新による面積 (C + D) | ha |
| ぼう芽更新による面積 (C) | ha |
| 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・ その他 ()・なし |
| 天然下種更新による面積 (D) | ha |
| 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・ その他 ()・なし |

伐採の方法が主伐の場合、伐採面積と造林面積が一致すること
(伐採後に森林以外の用途に供される場合を除く。)

皆伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内
択伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を超えない期間

複数の樹種を造林する場合は、樹種ごとに記載

樹種別の植栽本数が、市町村森林整備計画に定める人工造林の標準的な方法に適合していること

(2) 造林の方法別の造林の計画

| | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の植栽本数 | 作業委託先 | 鳥獣害対策 |
|------------------------------|----------------------------|------|----------|----------|--------|---------------|
| 人工造林 (植栽・人工播種) | 令和5年4月1日 ~ 令和5年5月31日 | ヒノキ | 1.00ha | 3,000本 | △△森林組合 | 幼齢木保護 具の設置 |
| | | スギ | 1.00ha | 3,000本 | | |
| 天然更新 (ぼう芽更新・ 天然下種更新) | | | | | | |
| 5年後において 適確な更新が なされない場合 | | | | | | |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、その用途を記載

2 備考

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
 - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
 - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 6 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が天然更新の場合

(別添)

伐採計画書

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 森林 太郎

1 伐採の計画

全ての地番の合計面積を記載
小数第2位まで記載(第3位四捨五入)

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|-------|----------|
| 伐採面積 | 2.00 ha(うち人工林 ha、天然林 2.00 ha) | | |
| 伐採方法 | (主伐)(皆伐)・択伐 | 伐採率 | 100% |
| 作業委託先 | - | | |
| 伐採樹種 | クヌギ、その他広葉樹 | | |
| 伐採年齢 | 45年(35~50) | | |
| 伐採の期間 | 令和4年5月15日 ~ 令和5年3月15日 | | |
| 集材方法 | 集材路・架線・その他() | | |
| 集材路の場合 予定幅員・延長 | 幅員 | 3.0 m | 延長 500 m |

2 備考

① 始期は届出年月日以降
30~90日
② 伐採の期間が1年を超える
場合は、年次別に伐
採の計画が記載

注意事項

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

(別添)

造林計画書

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 森林 太郎

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

| | |
|----------------------|--|
| 造林面積 (A + B + C + D) | 2.00ha |
| 人工造林による面積 (A + B) | ha |
| 植栽による面積 (A) | ha |
| 人工播種による面積 (B) | ha |
| 天然更新による面積 (C + D) | 2.00ha |
| ぼう芽更新による面積 (C) | 1.00ha |
| 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・ <u>その他</u> (芽かき) ・なし |
| 天然下種更新による面積 (D) | 1.00ha |
| 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・ <u>刈出し</u> ・ <u>植込み</u> ・ <u>その他</u> () ・なし |

伐採の方法が主伐の場合、伐採面積と造林面積が一致すること (伐採後に森林以外の用途に供される場合を除く。)

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を超えない期間

天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載する。
(例) 3,000本/ha × 2.00ha = 6,000本
5年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足らざる本数を植栽することとなる。

(2) 造林の方法別の造林の計画

| | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の植栽本数 | 作業委託先 | 鳥獣害対策 |
|----------------------|------------------------|--------|----------|----------|-------|-------|
| 人工造林 (植栽・人工播種) | | | | | | |
| 天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新) | 令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日 | クヌギ | 1.00ha | | | |
| | | その他広葉樹 | 1.00ha | | | |
| 5年後において適確な更新がなされない場合 | 令和11年4月1日 ~ 令和12年3月31日 | その他広葉樹 | 2.00ha | 6,000本 | | |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を超えない期間

以外の用途に供されることとなる場合のその

5年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載する。

伐採後の用途が森林以外 (転用) である場合、その用途を記載

2 備考

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
 - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
 - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 6 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採方法が間伐の場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採の始期の30～90日前
に届出

令和4年4月1日

宇部市長 様

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 △△森林組合
組合長 森林 花子

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は長期受委託契約に基づき 森林太郎 が所有する立木を伐採するものです。

1 森林の所在場所

宇部市 大字○○ 字△△ 地番 ○○-1番地, ○○-2番地

2 伐採及び伐採後の造林の計画 別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

- ① 伐採箇所ごとに届出書を作成する。
- ② 複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載する。
- ③ 必要に応じて届出に係る区域を示す図面を添付する。

3 備考

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 3 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

(別添)

伐採計画書

住所 ○○市○○町1-2-3
届出人 氏名 △△森林組合
組合長 森林 花子

1 伐採の計画

全ての地番の合計面積を記載
小数第2位まで記載（第3位四捨五入）

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|-----|------|
| 伐採面積 | 1.00 ha(うち人工林 1.00 ha、天然林 ha) | | |
| 伐採方法 | 主伐(皆伐・択伐) <u>間伐</u> | 伐採率 | 30 % |
| 作業委託先 | - | | |
| 伐採樹種 | ヒノキ | | |
| 伐採齢 | 35年 | | |
| 伐採の期間 | 令和4年6月15日 ~ 令和5年3月15日 | | |
| 集材方法 | 集材路・架線・その他() | | |
| 集材路の場合 予定幅員・延長 | 幅員 | m | 延長 m |

2 備考

森林作業道を活用して間伐木を搬出する。

① 始期は届出年月日以降
30~90日
② 伐採の期間が1年を超える
場合は、年次別に伐
採の計画が記載

注意事項

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。